

【開講日】令和元年11月22日(金)

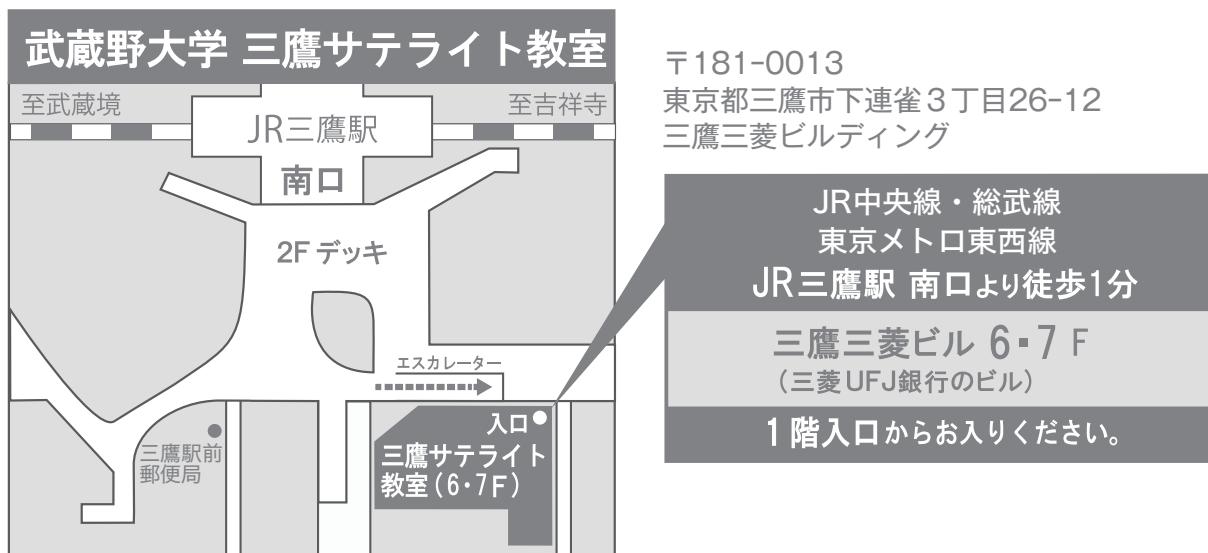
三鷹サテライト教室

文学
三鷹
312028f

【連続講座】太宰治 生誕110周年記念
『葉桜と魔笛』
—ある老夫人がものがたる—

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「太宰治 生誕110周年記念」全7講座お申し込みの場合10,000円		
必携テキスト	——		
講座概要	曜日	金曜日	日程
	時間	13:00 ~ 14:30	
	回数	全1回	定員 50名 (全7回講座と合算) 11月22日
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室	
講師	本学名誉教授・一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団理事長 宮川 健郎 (みやかわ たけお)		
	立教大学大学院博士前期課程修了。文学修士。宮城教育大学助教授、明星大学教授を経て、武蔵野大学文学部教授。著書に、『現代児童文学の語るもの』(NHKブックス)、『子どもの本のはるなつかきふゆ』(岩崎書店)、編著『名作童話 小川未明30選』、『名作童話を読む 未明・賢治・南吉』(いずれも春陽堂書店)など。		
内容	<p>「桜が散って、このように葉桜のころになれば、私は、きっと思い出します。——と、その老夫人は物語る。」これが、『葉桜と魔笛』の書き出しだす。老夫人は、いまから35年前、病気だった美しい妹のことを語ります。老夫人の語りのなかに、妹の病床に届いた恋人からの手紙が引用されます。ところが、妹は、澄んだ声で「姉さん、あたし知っているのよ。」「ありがとう、姉さん、これ、姉さんが書いたのね。」とつぶやくのです。いったい、どういうことなのか……。</p> <p>1939年に発表された『葉桜と魔笛』の複雑で魅力的な語りに入り込んで検討し、太宰治を読むことのおもしろさを味わいます。</p> <p>作品は、新潮文庫版『新樹の言葉』等で読んでください。</p>		

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



- 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- 欠席の連絡は必要ありません。
- 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。